



中部ブロック

発行人：伴 信太郎
 事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
 名古屋大学大学院医学系研究科
 総合医学専攻総合診療医学分野 内
 Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
 E-mail:nobuban@med.nagoya-u.ac.jp
 HP:http://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/

ニュースレター No.16 (2016.12) 本号の編集担当者 北西史直

<支部運営についての情報>

各県の代表窓口は下記の方々です 三重県；竹村洋典、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；伴信太郎、福井県；林寛之、静岡県；北西史直
 プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp

三重県：

- ・第4回公開フォーラム
- ・第4～6回 家族システム/心理社会医学フェロシップセミナー
- ・2016年度ポートフォリオ発表会
- ・第6回～第7回 感染症講義シリーズ
- ・第1回 在宅・緩和医療フェロシップセミナー
- ・第3回総診オープンカンファレンス in 桑名東医療センター
- ・第27回 三重・家庭医療学セミナー
- ・第1回～第2回 Trevino 先生セミナーシリーズ
- ・第1回 プライマリ・ケアエキスパートナース研修会

富山県

- ・トロント大 Howard Abrams 先生、Pauline Pariser 先生
- ・とやまびー（とやま多職種連携教育プロジェクト）
- ・やらんまいけ（学生向け家庭医療勉強会）

石川県：

- ・第13回北陸総合診療懇談会
- ・能登地域総合診療強化研究会
- ・平成28年度クリニカルラウンド（第3、4、5回）

岐阜県：

- ・第34回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス
- ・JICA 草の根協力事業「看護職を対象にした老年ケア
- ・キーパーソン養成事業」見学会
- ・第5回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会
- ・第18回岐阜生活習慣病談話会

愛知県

- ・第7回きょういく×カフェ
- ・ACCEL 秋2016
- ・英国における卒後臨床教育-Foundation program と総合診療専門医教育

福井県

- ・福井県ポートフォリオ発表会
- ・実践×協働 健康のまちづくりアカデミー 開講！
- ・高浜町健康マイスター養成塾 開講！

静岡県

- ・第2回静岡プライマリ・ケアフォーラム
- ・静岡家庭医養成プログラム公開 WS
- ・患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会

●三重県

【報告】

1) 2016年11月18日(金) 第4回公開フォーラム



会場：三重大学 講堂（三翠ホール） 10:00 - 17:00
 11月18日（金）、「第4回公開フォーラム」を開催し、288名の参加者にご来場いただきました。未来医療研究人材養成拠点形成事業は、総合診療の研究力や教育力を強化するための事業で、4回目となる今年は、文科省より三重県で実施するようにご指示があり、初めての地方開催となりました。本事業に選定された15大学による事業の概要や成果報告の発表、日本医学教育学会前理事長の伴先生より、総合診療の教育についての講演、鈴鹿委医療科学大学学長 豊田先生より日本の研究力（の低下）についての講演を賜りました。また、地域で総合診療のアカデミズムを維持するために必要なことに関するシンポジウムを行いました。これまで地域の病院で優れた研究をしてきた総合診療医（福岡大学病院総合診療部 堀端先生）、地域の公立病院に寄

附講座を設置して下さった市長（名張市 亀井市長）、県として総合診療の育成をサポートして下さっている県庁の医療責任者（三重県長医療対策局 松田局長）と三重大学総合診療からは竹村先生がパネリストとなって議論を行い、この事業が地域とのwin-win関係のもと、さらに発展できる可能性を示すことができました。

2) 家族システム/心理社会医学フェロシップ セミナー18:30～20:00

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

2016年9月1日(木) 第4回「医療者自身のこと」

講師：鈴木 美砂子 先生（岐阜県総合医療センター 臨床心理士）

2016年9月29日(木) 第5回

「親子の問題のために行うカウンセリングのコツ」

講師：中富 尚宏 先生（三重大学大学院医学系研究科博士課程 臨床心理士）

2016年11月17日(木) 第6回「家族療法セオリー」

講師：鈴木 美砂子 先生（岐阜県総合医療センター 臨床心理士）

3) 2016年9月11日(土) 9:00～11:55

2016年度 ポートフォリオ発表会

場所：三重大学医学部附属病院 臨床第一 講義室

発表者：後期研修生（小野亮佑先生、志田幸太先生、渡辺光先生、上垣内隆文先生、位田剣先生）

スーパーバイザー：近藤 諭先生、e-ポートフォリオ運営委員：近藤 誠吾先生

4) 感染症講義シリーズ 18:30～19:30

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

谷崎 隆太郎 先生（名張市立病院 医師、三重大学・名張地域医療学講座 講師）

2016年9月27日(火) 第6回 テーマ：

「肺炎 ～より適切なマネージメントのための Tips～」

2016年11月8日(火) 第7回 テーマ：

「尿路感染症～どの臓器の炎症か?～」

5) 2016年10月12日(木) 第3回総診オープンカンファレンス in 桑名東医療センター

会場：桑名東医療センター 1階講堂 18:00～20:00

内容：総合診療科症例カンファレンス&ミニレクチャー

6) 2016年10月27日(木) 18:00～19:30

第27回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学医学部 探索医学研究棟2階 家庭医療学/総合診療科

テーマ：家庭医ならではのスポーツ医学

演者：濱井 彩乃先生（安房地域医療センター総合診療科/亀田ファミリークリニック館山）

7) Trevino 先生セミナーシリーズ (全5回)

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

講師：Trevino Aristarkus Pakasi 先生（インドネシア大学医学部地域医療学）

2016年11月7日(月) 第1回 テーマ：「産業医学と家庭医療 Occupational Medicine and Family Medicine」

2016年11月10日(木) 第2回 テーマ：

「プライマリ・ケア医のための災害時マネジメント

Disaster management for primary care physicians」

8) 2016年11月11日(金) 17:30～19:00

第1回 在宅・緩和医療フェロシップセミナー

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

テーマ：「がん患者の終末期」

講師：石質 丈士 先生（いしが在宅ケアクリニック 理事・医師）

9) 2016年11月26日(土)

第1回 プライマリ・ケアエキスパートナース研修会

日時：2016年11月26日(土) 13:30～16:00

(16:00より三重県プライマリ・ケアセンター開所式を行います)

場所：三重県立一志病院 2F 会議室

内容：講演「医療過疎地域こそ看護職が求められている」

講師：松島 由実 先生（岡波総合病院副看護部長）

座談会「医療 過疎地域での看護の現状」

【今後の予定】

1) Trevino 先生セミナーシリーズ (全 5 回)

講師：Trevino Aristarkus Pakasi 先生
(インドネシア大学医学部地域医療学講座 講師)

2016年12月4日(日)11:30~12:30

第4回 テーマ：「高齢者ケアと地域の活性化 Elderly care and community empowerment」

会場：伊勢市観光文化会館 (リサーチプロポーザル発表会中に開催)

2016年12月7日(水)18:00~19:30

第5回 テーマ：

「熱帯医療と感染症 Tropical health and infectious disease」

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

2) 家族システム/心理社会医学フェロシップ セミナー18:30~20:00

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

2016年12月8日(木) 第7回 テーマ：「家族介護の心のケア」

講師：山田宇以先生 (聖路加国際病院心療内科心身医学専門医)

2017年2月9日(木)18:30~20:30

第8回 テーマ：「危機介入」

講師：鈴木 美砂子 先生 (岐阜県総合医療センター 臨床心理士)

第9回 テーマ：「家族療法のリサーチ」

講師：若林 英樹 先生 (三重大学大学院医学系研究科地域医療学講座 講師)

3) 2016年12月12日(月)

第28回 三重・家庭医療学セミナー18:00~20:00

会場：三重大学医学部 探索医学研究棟3階 オープンスペース

テーマ：～様々な人の考えの中から主題を見出す～主題分析法の基本

演者：西城 卓也先生 (岐阜大教育開発研究センター)

4) 感染症講義シリーズ 18:30~19:30

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

講師：谷崎 隆太郎 先生 (名張市立病院 医師、三重大学・名張地域医療学講

座 講師)

2016年12月13日(火) 第8回 テーマ：「急性腸炎～腸炎という診断を鵜呑みにしてはいけない理由～」

2016年12月27日(火) 第9回 テーマ：「病院内での発熱～熱源は感染症か非感染症か?～」

5) 在宅緩和医療フェロシップセミナー

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

2017年1月25日(水)17:30~19:00 第2回テーマ：「非がん患者の終末期」

講師：平原佐斗司 先生 (オレンジほっとクリニック 所長)

2017年2月28日(火)18:30~20:00 第3回テーマ：「在宅医療の実際」

講師：市橋 亮一先生 (総合在宅医療クリニック 院長)

2017年3月10日(金)17:30~19:00 第4回テーマ：「在宅医療における急変対応～感染症を疑う状態の方への対応～」講師：高山 義浩先生 (沖縄県立中部病院 感染内科・地域ケア科)

6) 2017年2月9日(水) 第4回総論オープンカンファレンス in 鈴鹿中央総合病院

会場：鈴鹿中央総合病院 18:00~20:00

●富山県

【報告】

1) 平成28年度 第3回 とやまびびー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程：2016年9月3日(土)

会場：

かみいち総合病院

テーマ：利用者・患者さんに寄り添いともに変わるには?

在宅診療をごちゃまぜで学びあおう!



交換を行った。

第3回とやま多職種連携教育プロジェクトへは56名の多職種学生・実務者・教員の方々にご参加いただいた。午前中は臨床において必要な行動変容についてのワークを含めたセッションを行った。午後の多職種事例検討会では、医療機関チーム、家族チームに分かれての事例検討、意見

2) 2016年9月9日 消化管エコー 第2回

会場：富山大学附属病院

講師：長谷川雄一先生 (成田赤十字病院) 山田正明先生 (富山大学大学院疫学・健康政策学講座)

消化管の全領域(虫垂・上部消化管・下部消化管)のエコーについてライブデモを含めた講義を頂いた。

3) 2016年9月10日

消化管エコー・ハンズオンセミナー 第2回

会場：富山大学杉谷キャンパス看護実習棟4階 シミュレーションルーム

講師：長谷川雄一先生 (成田赤十字病院)

浅野幸宏先生 (成田赤十字病院)

廣辻和子先生 (八尾総合病院)

少人数グループでのハンズオンで、消化管の全領域、とくに虫垂の描出を実習することができた。



4) 質的研究セミナー

日程：2016年10月8日(土)

場所：富山大学附属病院

講師：名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

大谷尚先生

質的データの分析手法であるSCAT(Steps for Coding and Theorization)を開発された名古屋大学の大谷尚先生に質的研究およびSCATについての基礎的なレクチャーを頂いた。



ケア、SCOPEという地域のプライマリ・ケア医との連携のシステムを作られた経緯について、またその研究結果についてお話しいただいた。

5) 2016年10月17日-21日 Howard Abrams先生、Pauline Pariser先生(トロント大学) 来県

とやま総合診療イノベーションセンター国際教育セミナーとして大学等で講演会を開催した。

10月17日 総合診療と研究ラボ / 家庭医療について

10月21日 IMPACT PLUS / SCOPE

総合診療と研究ラボ、カナダの家庭医療の歴史、IMPACT PLUS と呼ばれる複雑な問題を抱える患者に対する多職種チームでの統合された

6) やらんまいけ(学生向け家庭医療勉強会) 老年医学

日程：2016年11月2日(水)、11月3日(木・祝)

会場：富山大学附属病院



講師：玉井杏奈先生(台東区立台東病院)

11月2日のやらんまいけpre 老年医学では、「多民族・多文化に広がる緩和医療と薬物治療」と題してハワイでの緩和医療において、多職種で文化的背景の異なる患者に対応されたご経験、マーシャル諸島移民に対する終末期ケアに関する質的研究についてお話いただいた。11月3日は高齢者診療

のエッセンスと題して、講義およびグループに分かれての模擬サービス担当者会議を行い、高齢者医療におけるチーム医療について体験させていただいた。



7) やらんまいけ(学生向け家庭医療勉強会) 特別編 救急医から 離島医にー 離島医療の魅力と実際ー

日程：2016年11月4日(金)

会場：富山大学附属病院

講師：吉山直政先生(沖縄県黒島診療所 所長)

救急医から一念発起して離島医となった吉山医師に離島医療の魅力と実際について語っていただいた。

離島・へき地医療に興味のある学生が集まり、活発な質疑応答が行われた。

8) 平成 28 年度 第 4 回 とやまびー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程：2016 年 11 月 19 日 (土)

会場：富山大学附属病院

テーマ：「伝える」を学んでみよう！

ごちゃまぜ事例検討！～救急搬送における介護と医療考えよう！

第 4 回のとやま多職種連携教育プロジェクトへは 46 名の多職種学生・実務者・教員の方々にご参加いただいた。午前中はワークを通じて相手に伝えるということを実践形式で学び、対話を促す場の工夫についてのディスカッションを行った。午後の多職種事例検討会では、大学病院チーム、地域スタッフ・ショートステイチームに分かれての事例検討およびディスカッションを行った。

【今後の予定】

1) 2016 年度第 2 回 とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

日程：2016 年 12 月 18 日 (日)

会場：富山大学附属病院

講師：高橋 毅 先生 (今泉記念館 ゆきあかり診療所)

●石川県

【報告】

1) 第 13 回北陸総合診療懇談会 “魅力ある総合診療専門研修とは？”

日 時 平成 28 年 10 月 1 日 (土) 14:00~17:30



場 所 金沢大学附属病院外来棟 4 階 CPD センター

総合診療専門医制度の開始を間近に控え、第 13 回北陸総合診療懇談会が 10 月 1 日に金沢大学附属病院・宝ホールで開かれました。当番会長である金沢大学附属病院・総合診療部・野村英樹先生の発案で、総合テーマは“魅力ある総合診療専門研修とは？”になり、富山、石川、福井

から参集された医師、研修医、医学生により活発な議論が行われました。一般演題では稀な経過をたどった貴重な症例報告に始まり、南加賀地区の無医療機関地帯の単身世帯の医療状況の実態調査、医学生・研修医に対する行動変容ワークショップの試み、石川中央地区のクリニックにおける医学生の地域医療 BSL の現状、富山県でのプライマリ・ケア活動のまとめ、など多岐にわたる内容についてご報告がありました。総合テーマである総合診療専門研修の準備状況と課題については、当番会長である野村先生から日本専門医機構における準備状況の現状に

ついてのご報告の後、石川県における北陸総合診療コンソーシアムについて野村先生から、富山大学での家庭医・総合診療専門医研修について三浦太郎先生から、福井大学における総合診療研修の進化について伊藤有紀子先生からご講演をいただきました。平成 30 年度から予定されている総合診療専門医研修プログラムの北陸の地における状況について、総合診療専門研修プログラムに望むことを医学生・初期研修医からも提言され、魅力ある総合診療専門研修の実現に向けて取り組むべき課題について活発な議論が（2 次会場までノンアルコールで活発に[写真]）交わされました。北陸 3 県での総合診療専門医研修プログラムの状況を確認し、総合診療研修をさらに良いものにするべく**総勢 50 名の医師・研修医・医学生**が議論する貴重な機会となり、盛会に終わりましたことを申し添えご報告といたします。



2) 能登地域総合診療強化研究会 平成 28 年度クリニカルラウンド

能登北部 4 病院 (珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、公立穴水総合病院、市立輪島病院) を対象にクリニカルラウンドを月 1 回開催。目的として能登地域の医療の質の向上 (指導医レベル向上)、医学生、研修医、若手医師を対象とした能登地域へのリクルート活動及びさらなる能登地域のブランド化を図る。

第 3 回クリニカルラウンド

テーマ『能登の在宅医療について考える』

講 師 公立穴水総合病院 中橋 毅先生

日 時 平成 28 年 9 月 21 日(水)19:00~20:00

場 所 市立輪島病院 2 階会議室 参加者 21 名

内 容 症例検討、グループワーク



第 4 回クリニカルラウンド

テーマ『心筋梗塞かもしれない』

講 師 珠洲市総合病院 小泉 順二先生、井ノ口 安紀先生

日 時 10 月 26 日 (水) 19:00~20:00

場 所 珠洲市総合病院 参加者 28 名

内 容 症例検討、グループワーク

第 5 回クリニカルラウンド

テーマ『能登の糖尿病診療を考える』

講 師 公立穴水総合病院 中橋 毅先生

日 時 11 月 16 日 (水) 19:00~20:00

場 所 公立穴水総合病院 参加者 26 名

内 容 症例検討、グループワーク

【今後の予定】

1) 第 6 回クリニカルラウンド 開催日：12 月 14 日 (水)

場所：市立輪島病院

2) 第 7 回クリニカルラウンド 開催日：1 月 (詳細未定)

場所：珠洲市総合病院

3) 第 8 回クリニカルラウンド 開催日：2 月 (詳細未定)

場所：公立宇出津総合病院

●岐阜県

【報告】

1) 2016 年 9 月 23 日 (金) 19:00~21:30 会場：岐阜会館

第 34 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

岐阜市近郊の 8 つの臨床研修病院から研修医 26 名、指導医 27 名、計 53 名が参



加しました。症例ディスカッション：2

題、ミニレクチャー：1 題

特別講演：岐阜大学大学院学系研究科整形外科学

臨床講師 寺林伸夫先生「整形外科医が研修医に知ってもらいたいスポーツ障害と治療」

2) 2016 年 11 月 3 日 (木)

会場：社会福祉法人和光会 ロイヤルコート寺田

JICA 草の根協力事業「看護職を対象にした老年ケアキーパーソン養成事業」見学会

高齢化社会の到来が予測されるベトナムの医療・介護を支援する事業の一環として、中部学院大学 JICA プロジェクトメンバーと、同大学と学術協定を結ぶベトナムのダナン医薬技術大学の関係者など 12 名が地域医療や在宅サービスの見学に和光会グループ施設を





訪れました。「地域包括ケアシステムの中の在宅医療について」と題した講演（北方在宅クリニック院長 山田豪先生）では、活発な意見交換・質疑応答が行われました。

5 三重大学大学院医学系研究科家庭医療学・医学部附属病院総合診療科 竹村洋典先生
「地方からできる総合診療教育・研修のチャレンジー三重大の場合」
6 名古屋大学大学院医学系研究科総合診療学分野 佐藤寿一先生 「総合診療専門医と家庭医療専門医は同じか？」



3) 2016年11月27日(日) 12:30~16:30

会場：じゅうろくプラザ 5F大会議室
第5回日本プライマリ・ケア連合学会 中部ブロック支部学術集会
年1回の支部学術集会で、今年は岐阜県が担当になりました。医師66名、学生1名、計67名（スタッフを除く）の参加がありました。

- 一般演題4題
教育講演 北里大学医学部総合診療学・地域総合医療学 木村琢磨先生『総合診療“推進のために我々は今どうすべきか”』
シンポジウム「総合診療専門研修への期待と展望」
1 岐阜県健康福祉部 森岡久尚先生「岐阜県医療提供体制における総合診療医への期待」
2 浜松医科大学地域家庭医療学講座・静岡家庭医療養成プログラム・菊川市家庭医療センター 綱分信二先生「医学生・研修医への総合診療教育」
3 金沢医科大学 医学教育学講座・地域医療学講座 高村昭輝先生「医学生・研修医への総合診療研修としての地域」
4 富山大学附属病院総合診療部 山城清二先生
「総合診療専門研修プログラムの課題と工夫」

4) 2016年11月30日(水) 19:00~21:15

会場：岐阜ランドホテル
第18回岐阜生活習慣病談話会
医師41名、看護師・薬剤師等19名、計60名の参加がありました。
教育講演：岐阜大学医学部附属病院総合内科 臨床講師 山内雅裕先生
「高齢者の2型糖尿病治療」
特別講演：
佐賀大学医学部内科学講座 主任教授 野出孝一先生
「心血管不全予防を見据えた血糖管理」



【今後の予定】
1) 2017年1月20日(金) 19:00~21:30 会場：岐阜会館 **第35回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス**

●愛知県

【報告】
1) 2016年9月4日(日) 12:00-18:00 会場：名古屋大学医学部基礎棟第2会議室

第7回 きょういく×カフェ
「実践チームビルディング ～より良いチーム作りのための 後輩学・先輩学」講師 High-Z Inc. 鈴木裕介先生
参加者 14名 スタッフ4名

きょういく×カフェは医療現場でのまなぶ・おしえるを考える多職種での取り組みです。数ヶ月に1回講師をお招きしてのワークショップ、参加者によるプロジェクトチームの立ち上げ、前回からのプロジェクトチームの発表を行っています。第7回きょういく×カフェは、チームビルディングに関するコンサルティング・著書を手がけられている鈴木裕介先生を講師としてお招きし、チームビルディングについて学びました。その後前回からのプロジェクトチームの発表、新たなプロジェクトチームの立ち上げを行いました。
医師・学生・鍼灸師・薬剤師・理学療法士と多職種にわたる参加があり、と鈴木裕介先生の講演を受けてそれぞれの現場への振り返りを話し合ったり、プロジェクトチームで活動しての苦労や成果の共有したり、取り組みたいことを探索したりと多くの学びがある時間を過ごすことが出来ました。



3) 2016 2016年11月14日(月) 18:00~19:30

名古屋大学医学部鶴友会館2階
「英国における卒業臨床教育-Foundation program と総合診療専門医教育」
Spicer 先生は以前プライマリ・ケア学会が招聘したことがある London Deanery の Neil Jackson 先生のお弟子さんに当たる方です。現在「Head of Primary Care Education - Health Education England [South London]」というポジションにおられます。
講演のタイトルは「Postgraduate training in UK: Foundation and Speciality」で主に卒業研修についてお話いただきました。2007年から始まっている「Foundation program」は日本の卒業初期臨床研修（2004年開始）とほぼ同様な理念と制度です。またその後の各々の専門研修制度も日本が参考にできそうな情報が満載でした。
気さくな人柄で、講演後は若手医師や名大に留学している海外からの学生の質問（この講演は大学院特論に認定されたので外国人大学院生も参加）にも丁寧にお応えくださり、参加者32名、皆さん大いに満足してお帰りになったこと

2) ACCEL 秋 2016 2016年10月2日(日) 10:00~13:00 岐阜県中津川市健康福祉会館

ACCEL (Annual Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents) は、名古屋大学総合診療科が主催する家庭医療専門医試験の受験申請に必要なポートフォリオ (PF) の作成を支援するためのミーティングです。年4回開催。今回は17名にご参加いただきました。今年、家庭医療専門医に合格された松久先生から、専門医試験対策についてレクチャーしていただき、指導医・専攻医ともに大変美のある会になりました。

と思います。
Spicer 先生はヨーロッパ医学教育学会 (AMEE) の常連でもあり、来年ヘルシンキ (フィンランド) で開催される AMEE での再会を約して別れました。

【今後の予定】
1) ACCEL 冬 2016 2017年1月14日(土) 14:00~18:00 名古屋大学医学部3号館3階会議室

ACCEL 春 2017 2017年3月18日(土) 14:00~18:00 名古屋大学医学部基礎棟第1会議室

すべての家庭医療専門医プログラムの専攻医、指導医のオープン参加を歓迎します。またプライマリ・ケア認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新でPF作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。
連絡先：名古屋大学医学部附属病院総合診療科 (担当：安藤友一)
E-mail : u1ando@med.nagoya-u.ac.jp
Tel & Fax : 052-744-2951

●福井県



福井県ポートフォリオ発表会
日時：2016年9月3日 場所：福井大学医学部附属病院臨床研修センター
福井県内の後期研修医、指導医を中心にポートフォリオ発表会を行いました。
演題3題でしたが、多種多様なテーマで、様々な視点からの意見が出ており、発表された先生のみならず指導医も学びを新たにしていました。今からは専門医も専門医更新に必要なポートフォリオ作成して
いこうという試みを行ったり、発表者に建設的な評価を行ってみたいと思いました。今後も継続して切磋琢磨していくことが大切と感じました。

実践×協働 健康のまちづくりアカデミー 開講！
平成28年9月18日
家庭医療専門医のコンピテンシーの1つである地域志向アプローチに通ずる「健康のまちづくり」。まちづくりを行う上で、医学系研究科だけでなく、工学系（環境工学）、教育学系、社会学系の関与は重要です。福井大学では、大学の全学部（工学部、教育学部、国際地域学部、医学部）の教員が「地域づくりコンソーシアム」を結成しました。全国の医学部のみならず全学部の学生・専門職による広域多職種連携教育をもとにした通年制のセミナー「健康のまちづくりアカデミー」を開講いたしました。県内外から20名の学生・専門職が参加し、特別講義やワークショップ、まちなかでの実践を通して、福井県高浜町を舞台に健康のまちづくりを楽しんで学んでいます。

高浜町健康マイスター養成塾 開講！
日時：2016年11月17日

医療人材の不足地域では、役割と知識を持った住民のコミュニティヘルスケアへの参画が望まれます。そのように、自分の、家族の、地域の健康を守り育てる住民を育成すべく、「高浜町健康マイスター養成塾」を、平成28年11月17日に開講しました。75%以上の履修で、高浜町より「健康マイスター」が認定され、認定後の継続研修システムや、地域での健康にまつわる自主活動に対しての表彰システムを用意します。タイ王国のヘルスケアボランティアのように、健康マイスターが活躍されることを期待しております。



【今後の予定】

- ・ PIPC (Psychiatry In Primary Care) セミナー
日時：2016年12月18日 場所：福井商工会議所ビル
全国各地で開催されている PIPC (Psychiatry In Primary Care) セミナーが2年ぶりに開催予定です。内科/プライマリ・ケアの医師が自分の専門領域において適切な精神科的対応ができるように、知識やスキルを習得するセミナーです。前回(2014年)は定員を大きく超えるご参加があり、初期研修医からベテランの先生方、コミュニティの方まで普段は活躍の場が異なる幅広い多くの方に学んでいただきました。参加いただいた皆様にもっと多きセミナーになるよう運営スタッフ準備万全でお待ちしております。

●静岡県

・第2回静岡プライマリ・ケアフォーラム



(平成28年度第1回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)
日時：平成28年9月24日 14:00~17:30
場所：掛川駅前ビル

一般演題

① 家族背景を考慮したこ

とでスムーズに治療方針を決めることができた一例

静岡家庭医養成プログラム 潘鎮敬先生

80歳胃腸造設後の寝たきり症例、本人と家族の気持ちの違いに当初医療関係者は戸惑いを感じていたが、家族背景、患者家族の関係を理解することで、その後の方針がスムーズにできた症例を報告された。

② 顔面麻痺のため脳卒中が疑われ山間僻地よりヘリ搬送されたが、突発性末梢性顔面神経麻痺(ベル麻痺)の診断で同日中に帰宅となった事例

ふじのくに家庭医後期研修プログラム 原田高根先生

79歳、複数の脳血管リスクのある男性の顔面神経麻痺を通して、山間僻地における診療の難しさを討論した。末梢性、中枢性の鑑別の医学的なものから地域背景など幅広いディカッションがあった。

③ 私の在宅医療(藤枝市 旧岡部地区)

三輪医院 三輪一太先生

開業6年間の地域での在宅医療、病診連携、多職種連携についてご発表いただいた。地域包括ケアシステムにおける医師、医療機関の役割を再認識させられた。

④ 終末期医療の代理意思決定に関する本人の意識調査

静岡県立総合病院救急科 牧信行先生

60歳以上の高齢者30名を対象にした半構造化面接で、代理意思決定

への信頼感とその根拠の調査結果を発表された。超高齢化社会を向かえ関心の高い領域で様々なディカッションがみられた。

ワークショップ

「プライマリ・ケア医のためのリハ講座～なんとなくリハから脱却しよう」
聖隷袋井市民病院リハビリテーション科 望月亮先生

- 1) これからのリハは総合診療力のミセドコロ！
～リハ医学の過去、いま、そしてこれから
- 2) プライマリ・ケアリハ(生活期リハ)に対する認識の落とし穴
- 3) 「何」を、「どうやって」評価するか
- 4) 症例検討

① 生活期リハ：軽症症例(外来セッティング)

② 生活期リハ：重症症例(在宅セッティング)

リハ医学の発展と総合診療との関係、生活期リハに対するよくある誤解、ICFについて、リハの評価と目標設定などをお話いただいた後、2つの症例に対するグループ検討会を行いました。何となくリハからの脱却に必要なことは、「適切かつ明確な目的、段階的な目標(課題)設定、具体的な量的指標である」とまとめられました。

最後に20分ほど地方会会員総会、会員交流会を行い、定款変更の説明と承認、最近の後期研修プログラムの話題、認定薬剤師・看護師などの動向、プライマリ・ケア勉強会など各地域の話題について情報交換を行いました。

28名の参加者(医師23名、初期研修医1名、薬剤師2名、看護師1名、事務1名)で、前回よりは少数でしたが、会場は一杯になり、二次会も10数名の参加者で、アットホームで楽しい会となりました。

この場をお借りして、講師の先生、当番幹事の皆様、参加者の皆様に感謝いたします。



・静岡家庭医養成プログラム公開WS

9月29日 「家庭医療における統合医療」

講師：伊藤京子先生(名古屋大学病院総合診療科統合ヘルスケア)

統合医療は、「今ある環境で利用可能な方法を他職種で検討したうえで、個々の患者の意向に沿ったものを選んで適切に利用する診療戦略」であることを強調され、代替医療、相補医療、代替相補医療という言葉の使われ方、他職種連携におけるmultidisciplinary型とinterdisciplinary型の違い、健康とは?の再認識、Integrative Primary Health Care

(<https://nciph.org>)、他職種から成るチームメンバーとの協働、組織としてのスピリチュアリティーなど、統合医療の理解を深める講演だった。今

後の日常診療において、統合医療を実践していくためのステップをわかりやすく説明された。

10月6日「思春期医療」 講師：堀江典克先生

ライフサイクル、ファミリーサイクルの中での思春期の特徴、思春期における心理的プロセスの特徴、思春期男子の性の悩み、見逃さない器質的疾患、性腺機能不全、思春期早発症)性器発育不全(問診、診察上のポイント、内服歴、既往歴)、コモンな性的疾患に対する管理(包茎、停留精巣、EDなど)、非定型うつ病への対応・グループワーク(参加者の経験共有、陰性感情への対処、治療方針)等の知識に触れることができるセッションだった。

・静岡県立総合病院より

平成28年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業

患者の意向を尊重した意思決定のための研修会報告

講師：樋口範雄先生(東京大学大学院法学政治学研究所)

田代志門先生(国立がん研究センター 社会と健康研究センター生命倫理研究室)ほか13名

日時：11月12日(土)、13日(日)

場所：静岡県立総合病院 つつじホール 参加者：44名

人生の最終段階における医療(エンドオブライフケア)の意思決定プロセスの実践について学ぶ研修会。今年度は静岡を含め全国12カ所の会場での開催が予定されている。受講者は施設ごとに医師を含む2~4名の多職種チームでの参加で、職種を超えたディスカッションが行われた。

一日目は厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」についての解説と倫理的ジレンマが生じている事例について四分割表を用いた検討、二日目はアドバンスケアプランニング(ACP)のロールプレイを中心に行われた。



【今後の予定】

2月18日(土曜日)午後、静岡市で第3回静岡プライマリ・ケアフォーラム(平成28年度第2回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)を行います。大阪医科大学の鈴木富雄先生を講師に、「不明熱」「病院総合診療」について研修します。一般演題も募集しますので、ご応募よろしく申し上げます。ご案内は、メールで行いますので、学会事務局に登録されていない先生はぜひ登録してください。